



今月の
症例

ホームページ掲載版では、症例提示を非公開としています。



Osaka Medical College
Cardiology

- 大阪医科大学附属病院 循環器内科ではお困りの症例の電話による相談窓口を開設させていただいております。

当院のスタッフ(循環器専門医)が、緊急症例の受け入れに限らず、外来受診の予約など幅広く対応させていただきますのでご利用ください。

平日：午前9時～午後5時、診療日の土曜日は正午まで

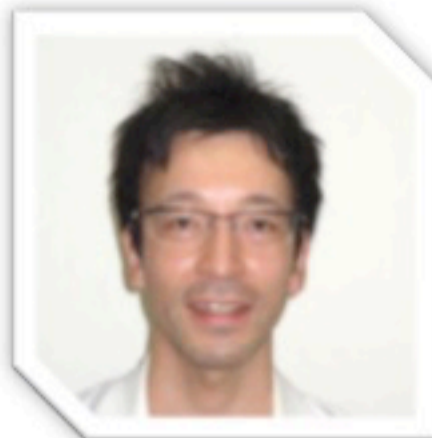
近況報告



新レジデント紹介 … 1) 氏名 2) 出身大学 3) 趣味 4) 決意の一言



- 1) 津田 浩佑
2) 大阪医大
3) 野球
4) 何でもやらせて下さい！



- 1) 不二樹 五郎
2) 高知大学
3) 旅行
4) 寝ます！



- 1) 前田 大智
2) 大阪医大
3) スポーツ観戦
4) しゃかりきに頑張ります！



- 1) 李 剛至
2) 大阪医大
3) お酒
4) お酒飲みます！

TOPICS

薬剤溶出バルーンが使用できるようになりました！

このたび、薬剤溶出バルーン(Drug Eluting Balloon : DEB)が使用可能となりました。本製品は表面に薬物を塗ったバルーンを拡張して血管壁に押さえつけることで、血管内皮に薬剤を送り込んで再狭窄反応を抑制しようというものです。塗布する薬剤としては第一世代の薬剤溶出ステントに使われたパクリタキセルが最適であることが分かり実用化されました。治療対象はステント内再狭窄の症例に限られますが、薬剤溶出ステントを使用しても、再狭窄を繰り返す患者さんには新しい治療手段として期待されています。



通常のバルーン(左図上)に薬剤を塗布しているため、薬剤溶出バルーンは白い綿毛状の構造物で覆われています(左図下)。水分に接触すると薬剤の溶出が始まるため、病変部への素早い持ち込みが必要になります。



後記

the editor's notes

今月より、ご紹介いただきました患者様の治療経過、循環器内科の近況報告、最近のトピックスなどをホットライン通信としてご報告させていただくことになりました。大阪医大循環器内科をもっと身近に感じていただく一助となればと存じます。新レジデントが入局してスタッフ一同、気分を一新してがんばってまいります。今後どうぞよろしくお願いたします。

